

**三陸の海を放射能から守る
岩手の会**

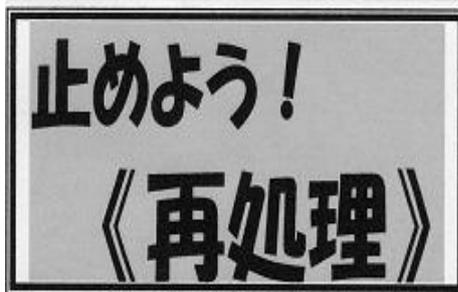
郵便振替 02240-5-102650

《再処理/岩手の環境》

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《まった再処理分庫》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k_imag



《天恵の海》

2009(平成21)年

12月 1日

第79号

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX 019-623-1636

尾駱沼の生物 急速に放射能汚染

(財)環境科学技術研究所のデータから

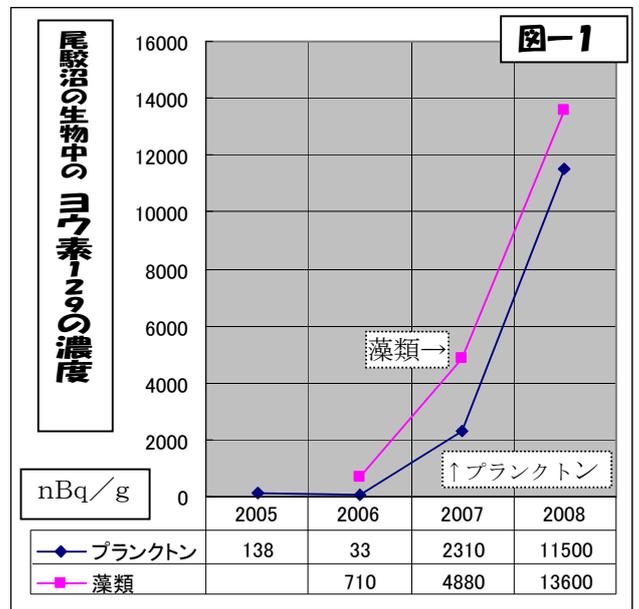


プランクトンから
ヨウ素129検出
三年で
八三倍増

尾駱沼から見上げた
六ヶ所再処理工場

撮影 2007.9 シーカヤッカーH・Tさん(岩手住)

本年九月東北大学で開催された日本原子力学会において(財)環境科学技術研究所が、『アクティブ試験中の六ヶ所村大型再処理施設周辺における水圏環境中のヨウ素129の濃度』と題する研究報告をしました。
「岩手の会」では同研究報告書を青森県立図書館に出品して閲覧し、その測定値などの資料を入手しました。そのデータから、尾駱(おぶち)沼のプランクトンのヨウ素129の放射能濃度数値が三年間で約八三倍になっているなど、水生生物の放射能汚染が急速に進行している事が明らかとなりました。



**アクティブ試験による
周辺水生生物への
放射能影響調査**

原子力学会における同発表は、二〇〇六年のアクティブ試験実施に際して、尾駱沼を中心とした陸水域から沿岸海域における水、堆積物、および生物試料中のヨウ素129の『環境移行・線量評価モデル』(開発中)の検証のために、アクティブ試験開始後の二〇〇五年度から〇八年度にかけて実施された分析報告です。

**尾駱沼の生物はいつまで
このままか?**

六ヶ所再処理工場からアクティブ試験の開始後三年間に放出されたヨウ素129は、空へ七億四千万ベクレル、海へ五億五千万ベクレルです。ヨウ素129の尾駱沼への導入経路については明らかにされていませんが、調査し明らかにしていくべきです。

**プランクトンで約八三倍
藻類で約一九倍**

尾駱沼の生物中のヨウ素129の濃度は、図1、図2の表とグラフ

(財)環境科学技術研究所 (ホームページから)

所在地 青森県上北郡六ヶ所村尾駱
理事長 嶋 昭紘 氏 職員 67人・非常勤8人
2009年度予算規模 30.8億円 認可 1990年12月

設立目的・業務

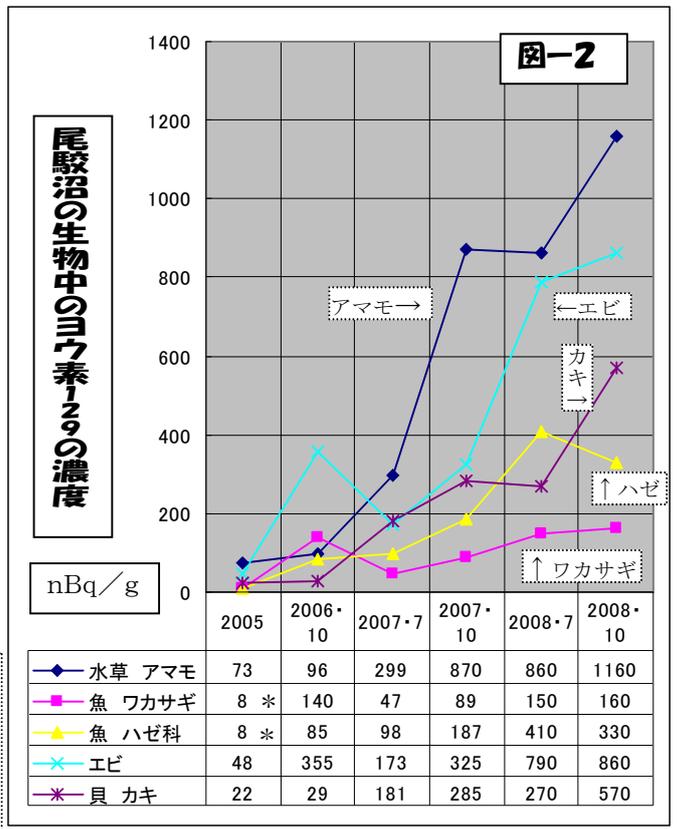
1. 青森県内の空間放射線の分布、再処理工場の立地安全審査パラメーター(媒介変数)の妥当性の実証
2. 放射性物質の環境循環機構の解明
3. 低線量放射線照射の生物への影響の実証的研究
4. 放射線について生物への影響について知識啓発

のようですが、明らかに急速に増大しています。単位は「1g」あたりの「nBq」（ナノベクレル）という微小な値ですが、驚くほどに急上昇しています。二〇〇八年の数値を読み取ってゆくと次のようになりま

- フランクトンは一万一五〇〇ナノベクレルで三年前の八二倍
- 藻類は一万三六〇〇ナノベクレルで二年前の一九倍

- 水草のアマモでは一六〇ナノベクレルで一五・九倍
- ワカサギでは一六〇ナノベクレルで二〇倍
- ハゼでは三三〇ナノベクレルで四一・三倍
- エビでは八六〇ナノベクレルで一七・九倍
- カキ貝では五七〇ナノベクレルで二五・九倍

食物連鎖による濃縮
まず、フランクトンの八三倍や藻類の一九倍、アマモの一六倍の数値に驚かされます。云々ま



尾駱沼の生物中のヨウ素129の濃度

でもなくフランクトンや藻類は、水中で光合成を行い魚などのエサになり食物連鎖の基盤となつている生物です。水中に定着し植物プランクトン類を食べるカキ貝は二五・九倍と高い値です。さらに汽水域に生息するハゼは四一倍にまでなつています。放射性ヨウ素は人体に取り込まれると、甲状腺に集まり、放射線障害をひき起こす可能性があるので分つています。

の測定結果は、尾駱沼が放射能に汚染されつつあることを明白に示しています。このまま再処理工場が操業された場合、放射能による汚染の度合いが増し、水産物にひいては地域住民の健康に深刻な影響を及ぼす恐れがあります。計画の凍結・再検討がぜひ必要です。

小辞典「ヨウ素129」
ヨウ素は人間の成長に係わる甲状腺ホルモンの主成分。ヨウ素129は半減期1600万年という長寿命の放射性物質。放射性ヨウ素は人間の甲状腺に濃縮しガンなどの障害をもたらす。非常に飛散しやすく、環境中に放出されると海草などの植物に吸収され、食物連鎖に入り込む。チェルノブイリ事故で最も多く見られた子どもの甲状腺放射線障害の原因物質はヨウ素131（半減期8日）。ヨウ素129は単位時間に放出する放射線は弱いとはいえ、半永久的に放射線を放出し続ける物質。影響が心配されます。

nBq・・・「ナノベクレル」と読み、10億分の1ベクレル、すなわち100万分の1ミリベクレル。
* 2005年の「魚 ワカサギ」と「魚 ハゼ科」の測定値の「8」は 両者（区分不明）の平均値。

**盛岡市内で署名運動
再処理工場の稼働予定を凍結して下ろす。
万一にも高レベル廃液を漏らさないで！**



道行く人々に声かけ

一月一日四日午後、二人は、六ヶ所再処理工場からの放射能による環境汚染の阻止を訴えて盛岡市内繁華街で署名活動を行いました。折からの雨でしたが、週末土曜日の午後ということ出人出はやや多めでした。道行く人に「六ヶ所再処理工場から放射能が流されているのを知っていますか？」と声をかけながら署名を訴えました。

驚く市民

「岩手の会」作成のカラーリーフを配りながら、一生懸命説明すると、かなりの人々から「えっ！ほんと、知らなかった」と答

**みんなでCAN・Z
署名でキャン**

全国各地で市民達が六ヶ所再処理工場などの危険を訴えて一斉署名運動を行っています。名づけて「署名でCAN,Z」。一四、一五日には、札幌、仙台、東京多摩、埼玉、鎌倉、佐賀などで取り組まれました。二三日には「秋の共同行動」の一環として青森市内の新町で取り組まれました。

この全国署名は来年一月に内閣総理大臣に提出します。
一月二七日現在二万六〇一〇筆が岩手の会に届いています。